

記者会見資料

提供年月日：令和3年(2021年)10月12日
所属名：滋賀県総務部市町振興課
担当名：地域戦略支援係
担当者名：松田
内線：3230
電話：077-528-3230
E-mail：iju@pref.shiga.lg.jp

～滋賀とつながる、滋賀でつながる～

コネクト シガ 「Connect-Shiga2021-2022」キックオフイベントを開催します！

「県外に住みながらも滋賀に関わりたい」
「有名なスポットだけでなく、より深く地域の魅力を知りたい」
そんな方々のための企画として、都市部と地域（滋賀）をつなぐ「Connect-Shiga2021-2022」がスタートします！

今年度の県内受け入れ地域および取組テーマは下記のとおりです。

- 大津市葛川：自然環境を活かしたまちづくりを模索する
- 愛荘町：伝統的工芸品“近江上布”の次世代継承・発展

上記「Connect-Shiga2021-2022」の開始にあたり、キックオフイベントを開催します。
移住までは踏み切れないけれど滋賀との関わりを持ちたい、東京で滋賀に関わる人となりたい、地域活性化に取り組む仲間をつくりたい、などなど様々な方のご参加をお待ちしています！

<「Connect-Shiga2021-2022」キックオフイベント概要>

滋賀県出身のお笑いコンビ ダイアンをゲストに招き、滋賀の魅力をご紹介するとともに、県外にいながら滋賀に関わる取組「Shigaゼミ」の参加者を募集します。

1. 日時：10月16日（土）13:00-16:00（12:45より受付開始）

第一部（13:00～）：愛荘町ふるさと大使ダイアンに聞く！滋賀の魅力

第二部（14:00頃～）：地元事業者と考える滋賀の取り組み

第三部（15:00頃～）：みんなで考える滋賀の魅力

2. 場所：AP品川（東京都港区港南1-6-31|「品川駅」港南口より徒歩6分）

※東京都のイベント開催基準に準じて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で開催します。

※オンライン（zoom等を想定）での参加も可能です。

3. 参加費：無料

4. 定員：会場参加は50名、オンライン参加は250名（先着順）

5. 参加申込：下記の特設ページからお申し込みください。

▼「Connect-Shiga2021-2022」概要はこちら

<https://www.knt-ks.co.jp/ec/2021/connect-shiga/>



キックオフイベント終了後は、地域をより深く理解するゼミや現地でのフィールドワークを開催し、参加者は地域活性化に資するアイデアを検討していきます。検討したアイデアは、令和4年2月に開催するイベントにおいて発表する予定です。

【愛荘町ふるさと大使ダイアンについて】

- ・ ユースケ（44 歳）、津田篤宏（45 歳）のコンビ
- ・ 共に滋賀県愛知郡愛知川町（現愛荘町）出身で、愛知中学校の同級生
- ・ 2000 年 4 月にコンビ結成
- ・ 令和 3 年 7 月に「愛荘町ふるさと大使」に就任

【受け入れ地域の情報】

○大津市葛川

大津市北部の“通えるド田舎（市街地から近い）”という立地や、地域に眠る空き家などの生活空間、山林、農地、古道などの自然環境等の魅力をどのように発掘、発信していくかが課題となっています。

現在は、葛川まちづくり協議会が中心となり、リンドウ栽培や杉の木からのアロマオイル抽出など、地域の活性化に向けて、積極的な取組を進めています。



○愛荘町

愛荘町を中心に生産する「近江上布」は国の伝統的工芸品に指定されており、その中心として活動しているのが滋賀県麻織物工業協同組合です。組合では、麻織物の担い手育成のほか、素材である麻織物のエンドプロダクトの企画・作成等も実施しており、麻織物の市場拡大に向けての事業を推進しております。

また、近江上布を中心とした麻織物の振興・発展をより一層推進するため、市場調査や麻織物の新たな分野での活用方法の検討、新商品の開発検討を行っています。



【LINE オープンチャットについて】

- ・ イベント開催と併せて、滋賀に関心をお持ちの方々が、ゆるやかにつながる LINE を活用したオープンチャットを運営しています。
- ・ Connect-Shiga のお知らせや、首都圏でのイベント情報、滋賀にまつわるちょっとしたネタなどを提供しています。
- ・ お気軽にご参加いただき、今回のイベントに参加できない方もオープンチャットで緩やかにつながりましょう。



【今後のイベント予定】

- ・ 別紙のとおり